

第6節 廃棄物

高度成長を遂げた日本では、高度化とともに大量生産・大量消費・大量廃棄といわれるように、環境への負荷が大きな問題となって現れてきました。

廃棄物の質は多様化し、量は増大しています。

その結果、最終処分場の残余容量が少なくなり、経済社会システムを見直すことが必要になってきています。廃棄物の発生を抑制し、使用済み製品の再使用、再資源化するなどの対策が急がれています。

東広島市では、これまでも廃棄物の発生抑制・リサイクルに積極的に取り組んできましたが、それ以上に国際学術研究都市としての目覚ましい発展によって、人口・事業所数が増加し、ごみ排出量も増加しました。

事業者、工場がとるべき対策に加え、市民のごみの分別収集、リサイクルなどのさらなる協力が大切です。



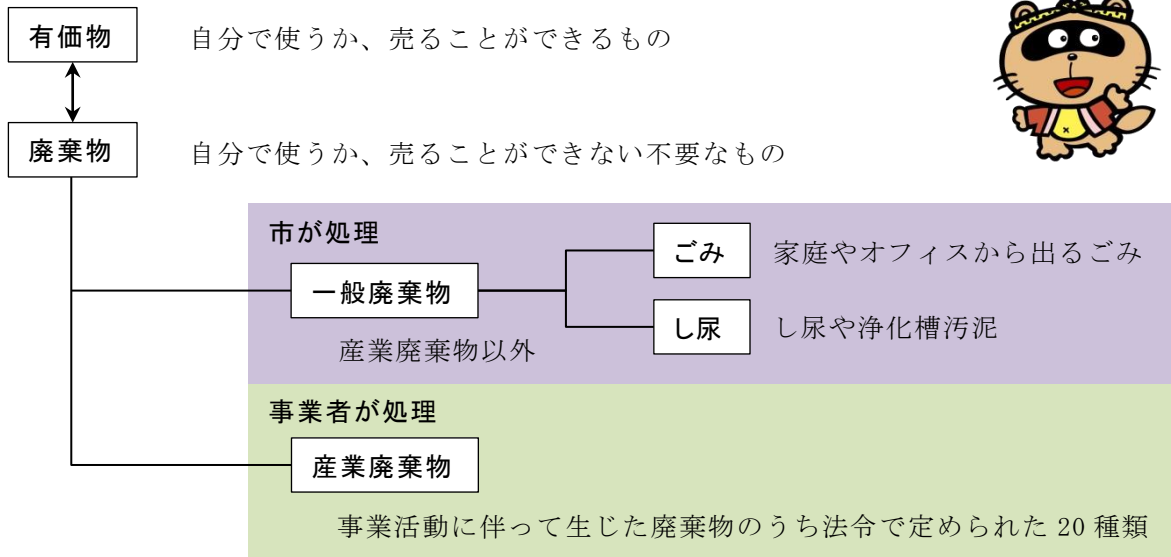
1 廃棄物の概要

『廃棄物』とは？



廃棄物とは、自ら利用できなくなったり、他人に有償で売却できないために不要になったものをいうよ。

廃棄物は一般廃棄物と産業廃棄物に大別され、その処理は一般廃棄物については市が、産業廃棄物については事業者の責任とされているボン。

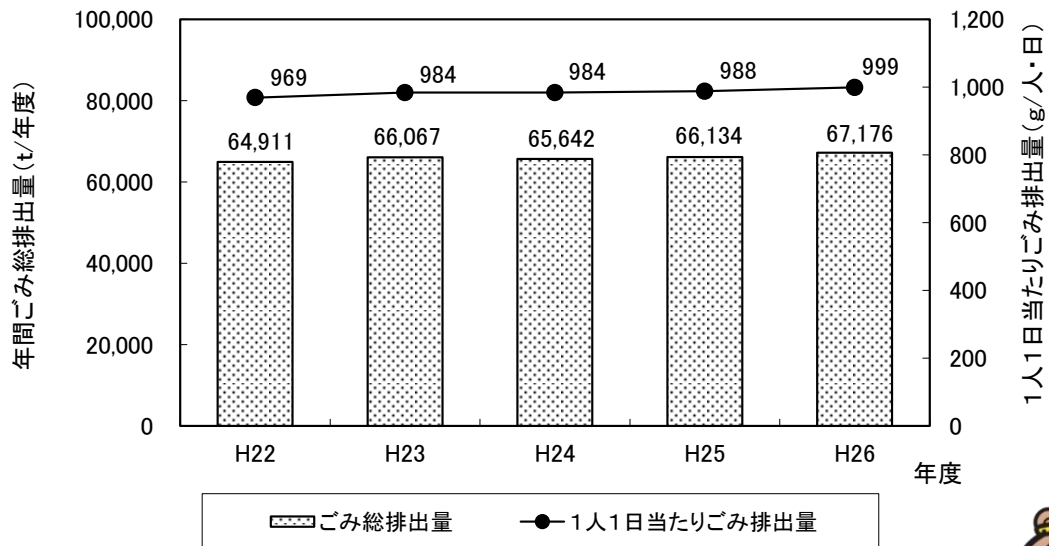


2 東広島市の一般廃棄物の現状

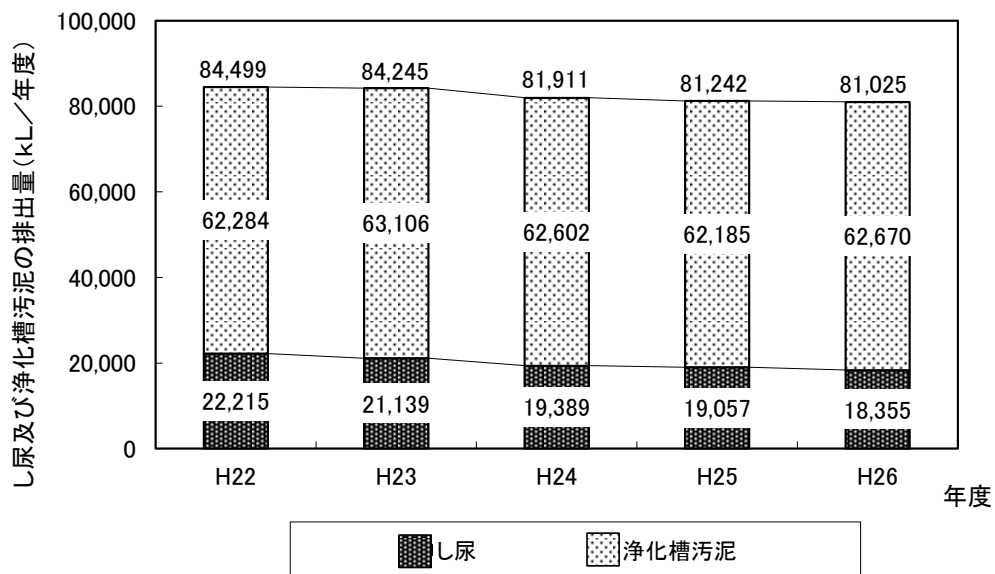


東広島市で排出される一般廃棄物のうち、平成 26 年度のごみ排出量は 67,176 t だよ。

これを 1 人 1 日あたりに換算すると、999 g/人・日となるんだ。この量はここ 5 年間で少しずつ増えているポン。



また、平成 26 年度のし尿及び浄化槽汚泥の排出量は 81,025 kL だよ。これらの一般廃棄物を減量・資源化することが、今後の課題ポン。



3 廃棄物の減量対策

3 Rの推進

ごみを減らすためには3 Rを進めていく必要があります。3 Rとは、ごみを減らす（リデュース Reduce）、再使用する（リユース Reuse）、再生利用する（リサイクル Recycle）のことで、まずリデュース、次にリユース、最後にリサイクルを行い、ごみを減らすことが大切であると言われています。

ごみの内訳をみると、もやせるごみ（可燃ごみ）の比率が78.1%と高くなっています。

もやせるごみが8割近くも占めているんだポン。



■種類別ごみ収集量と資源化量（平成26年度）

ごみの種類	収集量 (t)	割合 (%)	処理	資源化量 (t)
もやせるごみ	52,408	78.1		—
粗大ごみ（可燃）	3,468	5.2	焼却し、灰を埋め立て	—
埋め立てごみ	547	0.8	埋め立て	—
粗大ごみ（不燃）	2,062	3.1	再生できるものは再生事業者へ、それ以外は破砕して埋め立て	7,352
ペットボトル	212	0.3	選別し、再生できるものは再生事業者へ、それ以外は焼却または埋め立て	
リサイクルプラ	1,460	2.2		
ビン・缶	2,476	3.7		
新聞・雑誌・ダンボール	2,056	3.1	再生事業者へ	
拠点回収機	3	0.0		
地域資源回収	2,425	3.6		
有害ごみ	59	0.1	梱包し処理事業者へ	—
合計	67,176	100.0		7,352



平成25年度に市が市民の協力を得て実施した減量モニター事業によると、生ごみを水切りすると生ごみの重さが約3割減量されることがわかったよ。また、もやせるごみを意識して分別すると約2割が資源化できることがわかったポン。

生ごみはしっかり絞って、水分を少なくして出してほしいポン。



資源化量から求めた平成 26 年度のリサイクル率は 11%で、前年度の 12%から下がっていたよ。また、平成 25 年度のリサイクル率は広島県内市町の中でもっとも低い値だったんだ。
 今後も表にある取り組みを進めることが必要だポン。



■ごみ減量のために必要な取り組み

区 分	住民の取り組み	事業者の取り組み
減 量 (Reduce)	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物袋を持参してレジ袋を断る。 ・また、過剰包装を断る。 ・調理で出た生ごみを堆肥化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り商品の包装と梱包を簡素化する。
再利用 (Reuse)	<ul style="list-style-type: none"> ・買ったたりもらったりしたが使わないものは、バザー等に出し、必要なものと交換する。 ・リターナブル容器や詰め替え製品を選び、使い捨て商品を選ばない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場での分別と再利用を進める。
再生利用 (Recycle)	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみは、市の分別区分に従って、収集に出すことを徹底する。 ・各地域で発生した資源物は、集団回収により資源化する。 ・牛乳パック、白色トレイ等はスーパーの店頭回収に協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生品を積極的に採用・使用する。 ・ごみの適正な処理と資源化を推進する。



お買い物のときから、ごみが少なくなるような買い方を心がけてほしいポン。



使わないものは、ごみになる前に必要な人が使えるようにしてほしいポン。

